

令和7年度

地域福祉学習事業実績報告

町内の各小中学校(5校)を指定し、地域ぐるみで生徒・児童を守り育てようとする取り組みを支援することにより、共に支えあう地域社会づくりを推進することを目的に「地域福祉学習事業」を実施しています。(この事業は、共同募金の配分を受けて実施しました。)

神戸小学校

目的

様々な障がいがある方や高齢者の方とふれあう活動を通して、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立つて行動する。

内容

- ①「あすチャレ！スクールパラアスリートから共生社会を学ぶ。」
・車いす陸上の講話
・車いす陸上 リレー
- ②点字器のセット
- ③バラの土、肥料代
- ④感謝の会、交流会の製作費

成果

5年生の総合的な学習の時間において「ふれあい・学び合い私たちの福祉活動」のテーマで学習を行った。様々な障がいのある方とふれあう活動や高齢者体験活動を通して、誰に対しても思いやりの心や相手の立場になって行動することができた。また、3月には、もちのき園との交流も考えている。



▲ 感謝の会



▲ パラアスリートから陸上を学ぶ



▲ 総合的な学習（点字）



下宮小学校

目的

様々な人とのふれあいや体験的な活動を通して福祉について学び、福祉の心を養い、進んで福祉活動に参加しようとする態度を育てる。

内容

- 福祉に関する体験活動
- ・障がい者、高齢者の疑似体験活動
- ・パラスポーツ体験
- ・異学年集団活動
- ・幼児園訪問と交流活動



▲ 幼児園交流に向けて遊びの計画



▲ 高齢者や体の不自由な方の疑似体験の実施



▲ ボッチャの体験



▲ パラスポーツ選手の講話

成果

・身体に障がいのある方や高齢者の疑似体験を通して、日常生活を送る上での不便さを体感し、誰もが幸せに暮らすことができる社会を実現するための学習課題をもつことができた。
 ・パラスポーツの「ボッチャ」の体験したり、選手から講話を聞いたりするを通して、障がいがあっても出来る事や努力する尊さを知り、自身の生き方について新たに希望を見出すことができた。
 ・異学年や幼児園との触れ合い活動を通して、他者への思いやりの気持ちを高めることができた。

南平野小学校

目的

福祉活動を積極的に推進し、福祉教育の充実を図る。

内容

○「心の教育」推進活動

・3年生総合的な学習の時間「ハリウオ博士になろう」の学習で、池田町へ出かけ、ハリウオの生態を学んだ。限られた地域にしか生息していないハリウオを守っていくために川や自然環境を守っていくという意欲が高まった。
 ・1年生はアサガオ、2年生は野菜、1・2年生はサツマイモ、3年生はダイズ、4年生はヘチマ、5・6年生はバラを育てた。地域ボランティアの方に畑やバラ園でお世話になっていることを知り、感謝の気持ちが育まれた。

○福祉学習

・5年生総合的な学習の時間「共に生きる」の学習で、日本財団パラスポーツサポートセンターが主催する「あすチャレ!スクール」を実施した。パラスポーツ選手と交流し、パラリンピック夏冬合わせて5回出場した加藤正さんから「ともにできることを増やすためにどうすればよいかを考えることが、いろいろな人とともに生きる上で必要なことだ」と学んだ。また「失敗を恐れず挑戦するために、失敗を楽しむこと、仲間を心から応援することが大切だ」というお話から、まずは、仲間と心から応援し合い、自分にできることに挑戦していくという意欲をもった。

成果

・生き物や野菜を育て収穫する活動を通して、生き物の命の尊さに触れることができた。
 ・ハリウオの生態を学習したり、神戸町の花「バラ」を栽培したりすることで、自然を大切にしようとする心ややることを愛する心が育まれた。
 ・「あすチャレ!スクール」では、パラリンピック5回出場の講師の先生から、ともにできることを増やすためにどうすればよいか考えることや、失敗を恐れず挑戦すること、そのためには仲間と前向きに励まし合うことが大切であることを学んだ。いろいろな立場の人々と「ともに生きる」ためにできることを考え、行動していくことがよりよく生きることにつながるという意欲が高まった。



▲ 池田町上八幡地区でのハリウオ校外学習



▲ 池田町上八幡地区でのハリウオ校外学習



▲ あすチャレ!スクールでのパラスポーツ体験



▲ あすチャレ!スクールで講師の方の話を聞く児童ら

北小学校

目的

- ・地域の方や高齢者、障害のある方とのふれあいを中心とした福祉学習を意図的・計画的に工夫し、実践することで、他を思いやる心を育てる。
- ・学校、保護者、地域との連携がより強化され、地域全体で支え合う温かい絆づくりを推進する。

内容

- 幼稚園との交流
- 環境学習や体験活動など地域の方とのふれあい活動
- ・生ごみリサイクルによる土づくり活動
- ・パンジーの栽培活動
- ・野菜づくり
- ・米づくり
- ・なかよし太鼓
- お世話になった方々への感謝活動
- ・みかんの収穫
- パラアスリートと6年生児童の交流活動



▲ 段ボールコンポスト

成果

- ・野菜づくりや果樹を収穫する活動を通して、命を大切に作る気持ち育てたり、地域の方の温かさにつれたいすることができる。
- ・日本財団パラスポーツサポートセンターが主催する「あすチャレ・スクール」に6年生児童が参加し、パラアスリートの永尾嘉章さんから車いす陸上競技の経験をもとに「あきらめない大切さ」を学ぶことができた。
- ・なかよし学級では、和太鼓の演奏活動を通して、リズム感を体全体で覚え表現したり、意欲的に集中して活動に取り組んだりすることができた。



▲ みかんの収穫



▲ 米づくり（稲刈り）

神戸中学校

目的

- ・地域の清掃、行事への参加、ボランティア活動への参加等を通して、感謝の心、地域の一員としての自覚がもてるようにする。
- ・農作物や植物を育て、それを役立てることを通して、生命を大切にすることを育てる。

内容

- ①もちのき園ボランティア交流会
- ②ふくしフェス2025
- ③野菜栽培
- ④鉢花



▲ ふくしフェス2025



▲ もちのき園ボランティア交流会

成果

- ・8月に「もちのき園ボランティア交流会」として、苔を使った寄せ植え作品づくりを行った。参加した生徒たちは、もちのき園を利用される皆さんとの交流を楽しみながら、作品作りに励むことができた。
- ・11月の「ふくしフェス2025」にて、特別支援学級のブースをいいただき、物品の販売を行った。手作りのキャンドルやアイロンビーズ作品の販売を通して、実際にお金を扱う経験を積んだり、来訪者とのコミュニケーションを学んだりすることができた。
- ・特別支援学級の生徒が、居住地区交流の生徒や学校職員との交流を行うために、サツマイモやトウモロコシ等の苗を植え、収穫まで育てた。仲間とともに水やりを行ったり、収穫した野菜を調理したりすることを通して、育てたものを共有する喜びを味わうことができた。
- ・卒業式に飾る鉢花を「もちのき園」「たんぼぼ学園」に寄贈する。この交流を継続することで福祉への意識を高める。



▲ 野菜栽培